

2017年2月19日
上毛新聞掲載

大規模地震想定 対応や連携確認

済生会病院で訓練

前橋

東日本大震災から6年になるのを前に、大規模地震を想定した訓練が18日、災害拠点病院の指定を受けている前橋市の済生会前橋病院で行われた。病院や市消防局の職員、地域住民ら総勢350人が参加し、初動対応や連携を確認した。

訓練は多数のけが人が発生し、同病院近くのビルが倒壊したと想定。取り残された人の救助や、治療の優先順位を決めるトリアージを行った。住民らは事前に習った応急処置を実践し、助け合っけが人を運んだ。

同病院は昨年、市消防局と合同の大規模訓練を初めて実施し、今回は地元の東地区自治会連合会も加わった。同連合会長の竹之内孝之さん(73)は「当事者意識を持つて災害に備えたい」と話した。



けが人の容体を確かめる
救急隊員